

令和元年度 宮城県「体験の風をおこそう」運動推進事業 「夢・HOCKEY・in はなやま」

1 趣旨

トップアスリートの豊かな経験と高い技術に触れ、ホッケーを通して技術の向上・知識の向上を図るとともに、望ましい生活習慣を身に付ける。

2 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家

3 事業の概要

(1) 期日：令和2年1月10日（金）～11日（土） [1泊2日]

(2) 参加者

7団体111名（小学生25名，中学生30名，高校生29名，大人27名）

- ・ 築館スポーツ少年団 ・ 一迫スポーツ少年団 ・ 築館中学校ホッケー部
- ・ 栗原西中学校ホッケー部 ・ 築館高等学校ホッケー部 ・ 迫桜高等学校ホッケー部
- ・ 宮城クラブ男子

4 企画・運営のポイント

- ・ 地元出身のオリンピック2大会出場の三橋亜記選手（コカ・コーラレッドスパークス）と日本代表で活躍している狩野真美選手（南都銀行 SHOOTING STARS）の2名を招聘し実施した。

5 日程

		午 前				午 後			夜 間			
1/10 (金)								受 付	夕 食	技術指導①	入浴 ・ 情報交換会	消 灯
	1/11 (土)	起 床	朝 食	部 屋 点 検	技術指導②		閉 会 行 事	昼 食	解 散			

6 主な活動内容

参加者は、宮城県内のホッケー部に所属する小・中学生と高校生、社会人チームであった。講師に、地元出身のオリンピック（ロンドン・リオ出場）選手である『三橋亜記選手』と第18回アジア競技大会で金メダルを獲得した日本代表『狩野真美選手』を招き実施した。参加者は講師の説明や模範プレーを真剣に見聞きし、意欲的に技術習得に取り組んだ。基本的な動作を中心に技術指導をしていただいた。ゲーム的な要素を取り入れ、指導に工夫を凝らしていただき、和やかな雰囲気の中で、子どもたちは楽しく活動することができた。また、今回は、指導の最後に質問コーナーを設定したことで、選手と参加者の対話を通じた交流の時間もあり、より充実した事業となった。

参加者からは、「トップレベルの技にふれることができ嬉しかった。」「教えられたことを生かし、素晴らしいプレイヤーになりたい」等の感想を聞くことができた。指導者からは、「アスリートからの直接指導は選手の意識向上につながると共に、指導者としても指導の手法を学ぶことができとても勉強になった。」等の感想が得られた。



【1日目】「基礎的な技術を指導する三橋選手」



【2日目】「ゲーム形式で指導する狩野選手」



【2日目】「参加者から感想発表」



【2日目】「参加者と記念写真」

7 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：100% やや満足：0% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・小・中・高と一堂に集まって開催する事業はこれだけなので、とても貴重であるし、子供たちのレベルアップにつながっている。
- ・子供たちも充実した表情をしており、来年も開催していただければと思った。
- ・毎年楽しみにしているプログラムです。生徒たちはいい体験ができました。来年もよろしくをお願いします。
- ・毎年楽しみにしています。今回もありがとうございました。

(3) 成果

- ・小学生、中学生、高校生で80人以上の参加者があり指導者を加え100人近くがプレイホールで賑やかな教室を開催できた。小中学生たちは準備体操前からボールを触るなど待ちきれない様子がうかがえ、小中学生たちの上達には目を見張るものがあった。
- ・小中高と一同に会する機会があまりないので、とても良い機会になり子供達だけではなく親たちも交流する場面が見られた。
- ・トップアスリートの高い技術を体験したことで、技術を習得するきっかけとなった。
- ・質問コーナーを設けたことで、アスリートの意識や生活習慣、練習や試合に対する取り組み方などについて聞くことができ、今後の取り組みや意識の向上につながった。

(4) 課題

- ・開催日が、年度予定から変更があったため、今回は、社会人チームの参加が少なかった。早い段階で開催日の変更を伝えておく必要があった。

担当：企画指導専門職 安達章美